





Gulool Ja Ja : 『……よもや……あの宿敵
……ジャルゼーンが……関わっていたとは
我々には……捨ておけん……な?』

Solo
Bartlett 240



Rughadjeen : 諸君!
Rughadjeen : 皇国の未来は、
諸君の双肩にかかっている!
Rughadjeen : 勝利の栄光を
聖皇さまに捧げん!!
Gulool Ja Ja : グルルウルルルッ!
觸なき者ども、よ、
我々に、降服せよ!!

Solo
Bartlett 1198






雑魚1体につきキープ役の赤/忍を1人付け、それにサポート役の吟を加えた赤赤赤赤吟を雑魚キープ班とするのが有効。抜刀はマイナスでしかないので控えよう。

それ以外のメンバーでジャジャと戦う事になるが、削りは彼の斬耐性を鑑み、狩や召（マウンテンバスター・ヘヴンリーストライク）、または青/シ（不意だまキャノンボール）等で行い、ナ/忍2~3名が盾役を務めると良い。弱点である氷を黒で突くのは、ポーパルホイールが飛んで来るのでやり辛いだろう。ナには担当の後衛を1人ずつ付け、マイアズマの3異常を素早く治療したい所だ。

HP10%を切った辺りで1度だけ使用して来る微塵がくれは極めて高威力であり（約1000~1400魔法ダメージ）、PT半壊の危険が非常に高いので、雑魚キープ班が予めジャジャより離れておくのは当然として、予備のナ1名もジャジャに魔法が届かない程の遠距離へ退避しておくが良い。PT編成の一例は、ナナ青白赤吟 ナ赤召召召コ 狩赤赤赤赤吟。



 ジャジャの胸甲
グルージャジャが着用していた胸甲。
人間には装備不可能。

ポランティアリング